

会社名

(建設工事の種類)

業種ごとに記載をお願いします。

造園

工事

工事経歴書

経審業者 記載例



をお願いします。

#REF!

注文者 (下請け工事の場合、直接の注文者の 商号又は名称をご記入ください。)	元請 又は 下請 の別	J V の別	工事名	工事現場 のある 市町村名	配置技術者 氏名	請負代金の額		工期			当事務所記入欄			
						うち ・PC ・法面処理 ・鋼橋上部		着工年月	完成又は 完成予定年月	順位	確認資料			
〇〇県	元		〇〇公園施設整備工事	〇〇市	造園 太郎	45,000千円						注文書 領通当		
〇×市	元		〇×公園整備工事	〇×市	造園 次郎	13,850千円						注文書 領通当		
(株)××土木	元		<p>① 元請工事に係る完成工事について、その請負代金の額の合計額の7割超えるところ(今回(例)の売上金額の場合42,000千円)まで、請負代金の額の大きい順に記載</p> <p>注1 先に軽微な工事=500万円(建築1,500万円)未満の工事が10件まで記載された場合はその時点で記載終了</p> <p>注2 請負代金の額の合計額の1,000億円超部分は記載不要</p> <p>② ①に続けて、①以外の元請工事すべてと下請工事に係る完成工事について全ての完成工事高約7割を超えるところ(今回(例)の売上金額の場合70,000千円)まで、請負代金の額の大きい順に記載</p> <p>注1 先に軽微な工事=500万円(建築1,500万円)未満の工事が10件まで記載された場合はその時点で記載終了</p> <p>注2 請負代金の額の合計額の1,000億円超部分は記載不要</p>	650千円							注文書 領通当			
△□(有)	元			440千円								注文書 領通当		
◎ 様	元			60千円								注文書 領通当		
△△土木(株)	元			420千円	千円	平成 29年 10月	平成 29年 11月				契約書	注文書 請求書	注文書 領通当	
(株)〇〇建設	元			400千円	千円	平成 29年 12月	平成 29年 12月				契約書	注文書 請求書	注文書 領通当	
△△土木(株)	元			300千円	千円	平成 29年 8月	平成 29年 8月				契約書	注文書 請求書	注文書 領通当	
△△土木(株)	元			250千円	千円	平成 29年 8月	平成 29年 9月				契約書	注文書 請求書	注文書 領通当	
(株)〇〇建設	元			200千円	千円	平成 29年 11月	平成 29年 12月				契約書	注文書 請求書	注文書 領通当	
(株)〇〇建設	元			180千円						2月	契約書	注文書 請求書	注文書 領通当	
△△土木(株)	元			100千円						2月	契約書	注文書 請求書	注文書 領通当	
△△土木(株)	元		90千円	〇〇市	造園 太郎			千円	平成 30年 1月	平成 30年 1月		契約書	注文書 請求書	注文書 領通当

記載して頂いた工事経歴の金額上位5件分については整合性確認のため請負契約書等、金額の確認資料が必要です。(業種ごとに必要です)
 下記①又は②又は③をご準備下さい。
 例)①請負契約書(原本)
 ②注文書(原本)+注文請書(写し)
 ③見積書(控え)又は請求書(控え)+入金確認資料(通帳コピーや領収書等)

例)売上総金額 100,000千円
 元請工事: 60,000千円
 下請工事: 40,000千円

工事経歴書記載例 の場合

参考 2

工事経歴書(第2号様式)の記載フロー

- ①元請工事に係る完成工事について、元請工事の完成工事高合計の7割を超えるところまで記載
 ②続けて、残りの元請工事と下請工事に係る完成工事について、全体の完成工事高合計の7割を超えるところまで記載
 ただし、①②において、1000億円又は軽微な工事の10件を超える部分については記載を要しない

